

令和4年度補正予算 (3月27日専決)
令和5年5月18日提出

令和4年度

松本市下水道事業会計補正予算

(第3号)

報第5号

令和4年度松本市下水道事業会計補正予算（第3号）

上記について、特に緊急を要するため市議会を招集する時間的余裕がなく、地方自治法第179条第1項の規定に基づき別記のとおり専決処分したので、同条第3項の規定により報告し、承認を求める。

令和5年5月18日

松本市長 臥 雲 義 尚

別 記

地方自治法第179条に基づく専決処分について

令和4年度松本市下水道事業会計補正予算（第3号）について、特に緊急を要するため市議会を招集する時間的余裕がないので、地方自治法第179条第1項の規定に基づき別紙のとおり専決処分をする。

令和5年3月27日

松本市長 臥 雲 義 尚

別 紙

令和4年度松本市下水道事業会計補正予算（第3号）

（総則）

第1条 令和4年度松本市下水道事業会計の補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出の補正）

第2条 令和4年度松本市下水道事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

収 入

（ 科 目 ）	（既決予定額）	（補正予定額）	（ 計 ）
第1款 下水道事業収益	7,504,080 千円	63,620 千円	7,567,700 千円
第3項 営業外収益	1,707,310 千円	63,620 千円	1,770,930 千円

支 出

（ 科 目 ）	（既決予定額）	（補正予定額）	（ 計 ）
第1款 下水道事業費用	6,737,630 千円	920 千円	6,738,550 千円
第1項 営業費用	6,108,920 千円	920 千円	6,109,840 千円

（議会の議決を経なければ流用することのできない経費の補正）

第3条 予算第9条に定めた議会の議決を経なければ流用することのできない経費を次のとおり補正する。

（ 科 目 ）	（既決予定額）	（補正予定額）	（ 計 ）
(1) 職員給与費	414,070 千円	920 千円	414,990 千円

令和5年3月27日専決

松本市長 臥 雲 義 尚

# 下水道事業会計

令和4年度松本市下水道事業会計  
補正予算（第3号）実施計画

（収益的収入及び支出）

収 入

（単位：千円）

款 項 目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計
1 下 水 道 事 業 収 益	7,504,080	63,620	7,567,700
3 営 業 外 収 益	1,707,310	63,620	1,770,930
2 他 会 計 補 助 金	320	63,620	63,940

## 支出

(単位:千円)

款 項 目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計
1 下 水 道 事 業 費 用	6,737,630	920	6,738,550
1 營 業 費 用	6,108,920	920	6,109,840
1 管 渠 費	254,950	690	255,640
12 総 係 費	210,420	230	210,650

# 令和4年度松本市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー		
	当年度純利益又は純損失 (△)		712,970
	減価償却費		3,639,120
	固定資産除却費		77,600
	退職給付引当金の増減額 (△は減少)		30,470
	賞与引当金の増減額 (△は減少)		1,940
	法定福利費引当金の増減額 (△は減少)		160
	貸倒引当金の増減額 (△は減少)		250
	長期前受金戻入額	△	1,705,520
	受取利息及び受取配当金		△ 190
	支払利息		346,610
	有形固定資産売却損益 (△は益)		0
	未収金の増減額 (△は増加)	△	296,090
	未払金の増減額 (△は減少)		△ 40,650
	小計		2,766,670
	利息及び配当金の受取額		190
	利息の支払額	△	346,610
	業務活動によるキャッシュ・フロー		2,420,250
2	投資活動によるキャッシュ・フロー		
	有形固定資産の取得による支出	△	3,343,350
	有形固定資産の売却による収入		4,330
	無形固定資産の取得による支出	△	4,040
	国庫補助金等の返還による支出	△	7,240
	国庫補助金等による収入		1,158,180
	一般会計負担金による収入		815,460
	受益者負担金による収入		12,720
	工事負担金による収入		74,240
	基金の積立による支出	△	10
	基金の取崩による収入		0
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△	1,289,710
3	財務活動によるキャッシュ・フロー		
	建設改良費等の財源に充てるための 企業債による収入		1,881,500
	建設改良費等の財源に充てるための 企業債の償還による支出	△	2,931,860
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△	1,050,360
	資金増減額 (△は減少)		80,180
	資金期首残高		4,197,660
	資金期末残高		4,277,840

# 給 与 費 明 細 書

## 1 総括

(単位:千円)

区 分	職 員 数 (人)		給 与 費				法定福利費	合 計
	特別職	一般職	報 酬	給 料	手 当	計		
補正後		47	8,620	165,900	184,720	359,240	55,750	414,990
補正前		47	8,620	165,900	183,800	358,320	55,750	414,070
比較		0	0	0	920	920	0	920

(単位:千円)

手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	時間外勤務 手 当	管理職員特別 勤務手当
	補正後	5,040	5,290	3,210	2,750	170	7,120	0
	補正前	5,040	5,290	3,210	2,750	170	6,200	0
	比較	0	0	0	0	0	920	0
内 訳	区 分	休日勤務 手 当	管理職手当	期末手当	勤勉手当	寒冷地手当	児童手当	退職給付費
	補正後	50	2,130	38,180	29,650	2,370	2,030	86,730
	補正前	50	2,130	38,180	29,650	2,370	2,030	86,730
	比較	0	0	0	0	0	0	0

### (1) 会計年度任用職員以外の職員

(単位:千円)

区 分	職 員 数 (人)		給 与 費				法定福利費	合 計
	特別職	一般職	報 酬	給 料	手 当	計		
補正後		43		165,900	183,270	349,170	54,190	403,360
補正前		43		165,900	182,350	348,250	54,190	402,440
比較		0		0	920	920	0	920

(単位:千円)

手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	時間外勤務 手 当	管理職員特別 勤務手当
	補正後	5,040	5,290	3,210	2,750	170	7,120	0
	補正前	5,040	5,290	3,210	2,750	170	6,200	0
	比較	0	0	0	0	0	920	0
内 訳	区 分	休日勤務 手 当	管理職手当	期末手当	勤勉手当	寒冷地手当	児童手当	退職給付費
	補正後	50	2,130	36,730	29,650	2,370	2,030	86,730
	補正前	50	2,130	36,730	29,650	2,370	2,030	86,730
	比較	0	0	0	0	0	0	0

## (2) 会計年度任用職員

(単位:千円)

区分	職員数(人)	給 与 費				法定福利費	合 計
		報 酬	給 料	手 当	計		
補正後	4 ( 4)	8,620		1,450	10,070	1,560	11,630
補正前	4 ( 4)	8,620		1,450	10,070	1,560	11,630
比較	0 ( 0)	0		0	0	0	0

\* ( ) 内は、一週間当たりの通常の勤務時間が常時勤務を要する職を占める職員の一週間当たりの通常の勤務時間に比し短い職員の外書

(単位:千円)

手当の内訳	区分	扶養手当	地域手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	管理職員特別勤務手当
	補正後							
	補正前							
	比較							
手当の内訳	区分	休日勤務手当	管理職手当	期末手当	勤勉手当	寒冷地手当	児童手当	退職給付費
	補正後			1,450				
	補正前			1,450				
	比較			0				

## 2 給料及び手当の増減額の明細

区分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)		説 明	備 考
手当	920	その他の増減分	920	・時間外勤務手当の増分	

# 令和4年度松本市下水道事業予定損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:千円)

1	営業収益			
(1)	下水道使用料	4,821,380		
(2)	一般会計負担金	393,150		
(3)	その他営業収益	<u>5,870</u>	5,220,400	
2	営業費用			
(1)	管渠費	238,630		
(2)	ポンプ場費	9,030		
(3)	宮渕浄化センター費	715,610		
(4)	両島浄化センター費	368,200		
(5)	四賀浄化センター費	33,530		
(6)	上高地浄化センター費	59,900		
(7)	波田浄化センター費	160,050		
(8)	水質規制費	42,330		
(9)	普及促進費	25,750		
(10)	水洗便所等築造資金融資斡旋事業費	5,010		
(11)	業務費	263,510		
(12)	総係費	207,230		
(13)	減価償却費	3,614,990		
(14)	資産減耗費	77,600		
(15)	流域下水道維持管理負担金	<u>104,400</u>	<u>5,925,770</u>	
	営業損失			705,370
3	附帯事業収益			
(1)	売電事業収益	<u>76,440</u>	76,440	
4	附帯事業費用			
(1)	売電事業費用	<u>52,510</u>	<u>52,510</u>	23,930
	※ 減価償却費 24,130千円を含む			
5	営業外収益			
(1)	受取利息及び配当金	190		
(2)	他会計補助金	63,940		
(3)	長期前受金戻入	1,705,520		
(4)	その他雑収益	<u>1,160</u>	1,770,810	
6	営業外費用			
(1)	支払利息及び企業債取扱諸費	346,610		
(2)	雑支出	<u>35,750</u>	<u>382,360</u>	<u>1,388,450</u>
	経常利益			707,010
7	特別利益			
(1)	固定資産売却益	2,010		
(2)	過年度損益修正益	<u>7,400</u>	9,410	
8	特別損失			
(1)	過年度損益修正損	<u>3,450</u>	<u>3,450</u>	<u>5,960</u>
	当年度純利益			712,970
	前年度繰越利益剰余金			407,780
	その他未処分利益剰余金変動額			314,940
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>1,435,690</u></u>

令和4年度松本市下水道事業予定貸借対照表  
(令和5年3月31日)

		資 産 の 部		
1	固 定 資 産			
	(1) 有形固定資産	182,841,030		
	減価償却累計額	<u>△ 84,931,630</u>	97,909,400	
	(2) 無形固定資産		423,810	
	(3) 投資その他の資産		<u>5,020</u>	
	固定資産合計			98,338,230
2	流 動 資 産			
	(1) 現金・預金		4,277,840	
	(2) 未収金		2,253,430	
	貸倒引当金	<u>△ 8,370</u>	2,245,060	
	(3) 前払金		112,100	
	(4) 小口資金		<u>200</u>	
	流動資産合計			6,635,200
	資 産 合 計			<u><u>104,973,430</u></u>

(単位:千円)

## 負債の部

3	固定負債			
(1)	企業債			
イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	17,867,950		
	企業債合計		17,867,950	
(2)	引当金			
イ	退職給付引当金	338,460		
	引当金合計		338,460	
	固定負債合計			18,206,410
4	流動負債			
(1)	企業債			
イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	2,645,810		
	企業債合計		2,645,810	
(2)	未払金		294,400	
(3)	引当金			
イ	賞与引当金	23,480		
ロ	法定福利費引当金	3,650		
	引当金合計		27,130	
(4)	預り金		960	
	流動負債合計			2,968,300
5	繰延収益			
(1)	長期前受金		63,148,350	
(2)	収益化累計額		△ 13,466,630	
	繰延収益合計			49,681,720
	負債合計			<u>70,856,430</u>

## 資本の部

6	資本金			13,080,380
7	剰余金			
(1)	資本剰余金			
イ	受贈財産評価額	671,580		
ロ	国庫補助金	5,849,510		
ハ	受益者負担金	273,040		
ニ	一般会計負担金	8,847,790		
ホ	その他資本剰余金	20,790		
	資本剰余金合計		15,662,710	

(2)	利益剰余金				
	イ	減債積立金		2,523,400	
	ロ	建設改良積立金		1,414,820	
	ハ	当年度未処分利益剰余金			
		繰越利益剰余金年度末残高	722,720		
		当年度純利益	712,970	<u>1,435,690</u>	
		利益剰余金合計			<u>5,373,910</u>
		剰余金合計			<u>21,036,620</u>
		資本合計			<u>34,117,000</u>
		負債資本合計			<u>104,973,430</u>

# 注記

## I 重要な会計方針

### 1 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産

ア 減価償却の方法	定額法
イ 主な耐用年数	
(ア) 建物	9～50年
(イ) 構築物	10～60年
(ウ) 機械及び装置	6～20年
(エ) 車両運搬具	2～6年
(オ) 工具器具及び備品	2～20年

#### (2) 無形固定資産

ア 減価償却の方法	定額法
-----------	-----

### 2 引当金の計上方法

#### (1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に関して、該当職員が退職時に所属する会計で負担し、計上額の算定にあたっては、当年度在籍全職員の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

#### (2) 賞与引当金及び法定福利費引当金

翌年度の6月に支払われる期末・勤勉手当及びこれに係る法定福利費のうち、当年度に期間対応する分（12月から3月までの4か月分）を計上している。

#### (3) 貸倒引当金

未収金債権のうち回収することが困難と見込まれる額を貸倒引当金として計上している。

当期の貸倒実績率は、過去3年間の貸倒実績率の平均値により算出している。

### 3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

## II 予定貸借対照表等関連

### 1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は7,508,850千円である。

### 2 退職給付引当金の取崩し

令和4年度において、退職手当として56,260千円を支給する見込みのため、退職給付引当金56,260千円を取り崩す予定である。

### 3 賞与引当金の取崩し

令和4年度において、期末手当及び勤勉手当として21,540千円を支給する見込みのため、賞与引当金21,540千円を取り崩す予定である。

### 4 法定福利費引当金の取崩し

令和4年度において、法定福利費として3,490千円を支出する見込みのため、法定福利費引当金3,490千円を取り崩す予定である。

### 5 貸倒引当金の取崩し

令和4年度において、不納欠損処分として8,120千円を支出する見込みのため、貸倒引当金8,120千円を取り崩す予定である。

令和4年度松本市下水道事業会計  
(収益的収入)

補正予算(第3号)実施計画明細書  
及び支出)

(単位:千円)

収 入

款 項 目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計
1 下 水 道 事 業 収 益	7,504,080	63,620	7,567,700
3 営 業 外 収 益	1,707,310	63,620	1,770,930
2 他 会 計 補 助 金	320	63,620	63,940

各 目 明 細		
節	金 額	説 明
他 会 計 補 助 金	63,620	・電気料高騰分支援事業補助金

支 出

款 項 目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計
1 下 水 道 事 業 費 用	6,737,630	920	6,738,550
1 営 業 費 用	6,108,920	920	6,109,840
1 管 渠 費	254,950	690	255,640
12 総 係 費	210,420	230	210,650

各 目 明 細		
節	金 額	説 明
手 当 等	690	・職員手当等追加
手 当 等	230	・職員手当等追加